ぼくのノオト

㊺昭和の愛

努力と忍耐と根性が、時代を支えていたころ、一度も学校を休まなかった生徒もいました。皆勤賞こそ、自分が認められるための証だったのです。世の中が変わると、人の価値観も変わるもので、今ではちょっとした体調不良で学校を休んでも、それほど気兼ねはいりません。

自分の理解受容の枠を超えた行動をとる人に、流行の病名を付け、ある種のレッテルをはることで、自身の安心を得ることがあります。何の苦痛も感じていない人を病人扱いすることによって、何とか今の自己を保つのも、さもしいものです。

今まで闇の中にあり、否定排除の対象であった、形を異にする愛情。それが受け入れられるようになってきたのは、やはり一人一人の意識変化によるものです。

ノーマル・バリアントの枠を広げるのは、自分とは違う相手を理解する中で、さもしい自分をみつけることなのでしょう。

認定NPO法人 いわき放射能市民測定室
たらちねクリニック
院長　藤田 操

〒971-8162 福島県いわき市小名浜花畑町11-3 カネマンビル3階 Tel.0246-38-8031 診療科目 内科・小児科／診療時間 午前9時～12時・午後2時～5時（受付は30分前）／土・日・祝日休診